

3 平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①研究授業や授業見学を更に活性化させ、学校全体としての組織的な授業改善を推進する。</p> <p>②基礎学力の充実を図ると同時に、各科やクラス内における学力の偏りに対応する授業等の実践を目指す。</p> <p>③カリキュラムや各行事の充実を図りながら、授業時数の確保を目指す。</p>	<p>①55分授業を活かした、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めるために計画的・組織的な研修を行う。</p> <p>②基礎学力の定着・充実を図り、職員全体で個々の生徒の状況を共有することで思考力・判断力・表現力を養成する授業を実践する。</p> <p>③新教育課程の編成にむけ、基本方針を決定する。</p>	<p>①年2回の公開授業の目標設定において、「主体的・対話的学び」を取り入れる。また、生徒による授業評価アンケートの結果を分析し、授業改善学習会を実施する。</p> <p>②基礎力診断テストを、1,2年生に3回実施する。それぞれの結果を基に職員対象の研修会を行い、個々の生徒の状況を共有し教科を越えて結果を活用するよう工夫する。</p> <p>③カリキュラム検討委員会を設置し、基本方針を決定する。</p>	<p>①「主体的・対話的で深い学び」実現に向け55分授業を活用できたか。授業改善に向け授業見学を第1回に他教科を含め2回以上行い、第2回に研究授業を含め2回以上行ったか。</p> <p>②基礎力診断テストの結果を基にした職員対象の研修会を3回行ったか。全教科で診断テストの結果を活用できたか。生徒の苦手を把握し克服、改善に向けた授業の工夫ができたか。</p> <p>③新カリキュラムの基本方針を決定できたか。</p>
2 生徒指導・ 支援	<p>①生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p> <p>③部活動の活性化を通して、問題解決能力を育み責任感や連帯感の涵養を図る。</p>	<p>①生徒一人ひとりに対応した生活指導を徹底し、社会人としてのルール・マナーを定着させる。</p> <p>②個々の生徒の状況に応じた組織的な相談体制を構築し、円滑な学校生活を送ることができるよう支援する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p> <p>④部活動、同好会、各委員会、農業クラブ、商友会活動の活性化を推進する。</p>	<p>①担任・学年と協力して、挨拶の励行と服装や頭髪の身だしなみを徹底し規範意識の向上を図る。携帯電話、SNSの正しいマナーの徹底及び、新校地への移転に向けた自転車乗車・交通安全教育の充実を図る。</p> <p>②組織的且つ迅速な対応を目指し、教育相談コーディネーターを活用し、生徒の困り感を見逃さない。</p> <p>③各種行事において、生徒主体の生徒会活動への支援を行い、生徒のコミュニケーション能力と行動力を育む。また教員間での連携と情報共有の充実に努める。</p> <p>④顧問総会を定期的に開催し、課題や移転の情報を共有し、部活動の活性化の支援を行う。</p>	<p>①集会や講演会を昨年よりも増やし充実させるとともに担任や学年付を中心にした、日常的な挨拶や身だしなみ、マナー教育を図ることができたか。</p> <p>②生徒指導に対して、組織的に取り組み事故件数を減少させるとともに、多くの眼で状況を確認し、事故の未然防止につなげ生徒個々の情報共有ができたか。</p> <p>③行事運営において生徒主体の円滑な運営ができたか。</p> <p>④生徒、教員間の共通理解を持った活動の支援が実施できたか。</p> <p>⑤顧問総会は定期的実施できたか。円滑な部活動の移転が出来たか。</p>
3 進路指導・ 支援	<p>専門性の高い知識と技術を育み、社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、社会人基礎力を主体的に身につけるとともに、産業構造の変化や社会のニーズ等に対応した人物育成を推進する。</p>	<p>①生徒個々の進路に応じた、多様で専門性の高い知識と技術を育成する。</p> <p>②基本的な学習習慣の充実を図る。</p> <p>③収集したデータを活用し、学年の状況に応じたガイダンスを計画的に行う。また、学</p>	<p>①各々が産業界等と連携し勤労観・職業観を育成する</p> <p>・多様な進路選択に対応した学習活動の充実を目指す</p> <p>・目指す職業や、インターンシップ・農業体験等への参加を継続的に募る</p>	<p>①勤労観・職業観を育成する連携ができたか</p> <p>・インターンシップ等の参加状況は目標を達成できたか</p> <p>②授業評価の結果を確認する</p> <p>③進路状況のデータの活用と蓄積はできたか</p> <p>④生徒の進路意識を高める</p>

			<p>習指導グループと協力して、志望大学の入試に対応できる生徒を育成する。</p> <p>④就職する企業に見合ったマナーや基礎学力の定着を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業科のクラスでは昨年度を超えるインターンシップ等への参加を目指す。 ②生徒による授業評価の学習への取組、態度、姿勢の項目は「1」をマークする生徒数で0を目指す ③実現するために必要な将来設計や学習態度を養う。 ・学部・大学について主体的に情報を収集して絞り込むための進路行事を行う。 ・進路実現に向けデータを生徒に示す。 ④基本的マナーの指導や各種ガイダンスを実施して生徒が自主的に進路選択ができるように指導する。 	<p>ことができたかを進路結果より確認する</p>
4	地域等との協働	<p>①地域産業界と連携し、個性豊かな人間性や社会性を培うために、農業科・商業科それぞれの高い専門性の知識と技術を活かしつつ「主体性・多様性・協働性」を兼ね備え、社会に貢献することができる生徒の育成を実現していく。</p> <p>②社会の動向に柔軟に対応できる産業人の育成に向けた専門教育活動の充実を図る。</p>	<p>①地域の企業、団体との連携をより組織的に進め、効果の検証、見直しを行う。</p> <p>②外部による特別授業を積極的に実施し、専門性の向上を図るとともに、教科・学科の枠を超えた教育活動を展開・発展させる。</p>	<p>①農業3学科、総合ビジネス科で、新校地移転に向けてさらに科の枠を超えた連携、または企業や団体との連携を4科全体で8事業以上実施し、生徒が自ら考え、行動する機会を増やす。</p> <p>②農業3学科、総合ビジネス科で外部講師による授業を引続き実施し、全体で8回以上実施し、生徒が授業で学んだ知識や技術の深化を目指す。</p>	<p>①4科で8事業以上実施し、専門性を高める教育活動の展開を深め、産業社会に貢献することができるような取組みができたか。</p> <p>②外部講師による授業を農業3学科、総合ビジネス科で8回以上実施し、将来の進路選択を見据えた学習活動を展開し、専門教育活動の充実につなげられたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①様々な事故を防ぐため、全職員の組織的な取り組みを進める。</p> <p>②災害発生時の体制作りを進める。</p> <p>③教育環境の整備を推進する。</p>	<p>①各種重要情報の取扱いにおけるマニュアルを見直し、管理の徹底と事故防止を図る。</p> <p>②防災備蓄品の整備を実施し、災害発生時の対応について地域との連携を検討する。</p>	<p>①各種重要情報の取扱いマニュアル見直しの完成に努める。電子データ文書の適切な保存廃棄を行い、情報の取り扱いについて啓発のための研修会を行う。</p> <p>②防災備蓄品の整備・更新を計画的に行い、分散備蓄場所の検討を更に進める。相模原市や地域と連絡を取り、災害時の連携に向け情報を収集し、連携体制の構築を図る。</p>	<p>①マニュアルの見直しを完成できたか。電子データ文書の適切な取り扱いができたか。研修会を実施できたか。</p> <p>②防災備蓄品の計画的な整備・更新ができたか。</p> <p>③分散備蓄の検討が進んだか。</p> <p>④相模原市や地域の災害対策の情報が収集でき、連携体制が構築できたか。</p>